

緊急事態宣言解除

5/25日、新型コロナウイルスに関する「緊急事態宣言」が、最後まで宣言の対象だった東京など5都道府県でも解除となりました。解除後について東京都では、緩和の行程を3段階で示す「ロードマップ」を発表しました。感染状況を見ながら、ステップ1～3まで徐々に緩和をして段階的に活動を再開し、感染を最大限抑えながら、生活や経済社会活動との両立を目指していくとのこと。感染拡大の兆候が見られたら「東京アラート」を発動し、状況によっては再びの外出自粛も行うこともあるようです。こうした対応を取りつつ、「新しい日常」が定着した社会の構築を目指すとしています。

ロードマップの5つのポイント

- 1 外出自粛等の徹底を通じて、**感染を最大限抑え込む**
- 2 **モニタリング**等を通じた、**都民生活や経済社会活動との両立**
- 3 必要な場合には「**東京アラート**」を発動
- 4 「第2波」に対応するため、**万全の医療・検査体制を整備**
- 5 「**新しい日常**」が定着した社会の構築

休業要請緩和のステップ（施設別）

	ステップ0	ステップ1	ステップ2	ステップ3
博物館・美術館 運動施設・学校 等	×	○or△	○	○
学習塾・劇場・集会場 生活必需品販売 以外の店舗等	×	×	○	○
漫画喫茶・パチンコ屋 ゲームセンター 遊園地 等	×	×	×	○
飲食店 等 (居酒屋を含む)	朝5時～夜8時まで (酒類提供夜7時まで)	朝5時～夜10時まで (酒類提供夜10時まで)	朝5時～夜10時まで (酒類提供夜10時まで)	朝5時～夜12時まで (酒類提供夜12時まで)
接待を伴う飲食店 ライブハウス カラオケ店・ジム 等	×	×	×	×
イベント	×	50人まで	100人まで	1,000人まで

レインボーブリッジライトアップのイメージ



東京都では都民への周知のため、宣言解除後7色のライトアップを、レインボーブリッジ及び都庁舎で実施。「東京アラート」が発動された場合、赤色でライトアップし警戒を呼びかける。

東京都ホームページより

新しい日常

新型コロナウイルス対策としての都市封鎖や経済活動の停滞・縮小の結果、大気汚染の改善や二酸化炭素(CO2)排出量の減少といった、環境へのプラス効果もたらされていることが、世界各地で報告されています。今回の件での影響の大きさがうかがえます。

緊急事態宣言以降この一ヶ月半の間、私たちの就労スタイルも大きく変わりました。これまでも働き方改革などにより少しずつ変化をしてきましたが、今回多くの企業が在宅勤務や時差勤務に取り組んでいます。新型コロナウイルスの終息までどれくらいを要するのかまだ分かっていませんが、長い期間を覚悟する必要があるようです。感染防止と経済活動の回復との両立を図っていく上で、東京都からは「新しい日常」が発表されています。職場にも、環境にとってもより良い形への復興を目指す取り組みが始まります。

暮らしや働き方の「新しい日常」

手洗いの徹底・マスクの着用

ソーシャルディスタンス

「3つの密」を避けて行動

NO!! 3

買い物

- 少人数・短時間で済ませよう
- レジで並ぶ時は間隔をあげよう
- 通販やキャッシュレスを活用しよう

娯楽・スポーツ等

- オンラインを活用し楽しもう
- 公園は空いている時間、場所を選ぼう

公共交通機関

- 混んでいる時間帯を避けよう
- 徒歩や、自転車を利用しよう

食事

- お箸やお皿の共用を避ける、座り方を工夫するなど、新しい食事マナーを実践しよう
- テイクアウトやデリバリーを利用しよう

働き方

- テレワークや時差出勤を広げよう
- オンライン会議やハンコレスを進めよう
- ついでにや換気、消毒など、職場に応じた工夫をしよう

東京都ホームページより

JS環境委員会短信

熱中症が心配される季節になりました。特に今年はマスク着用によるリスクが懸念されています。こまめな水分補給など心がけましょう。

本社 環境委員会メンバー

委員長：下鳥治

委員：小井土昌弘 河野純一 庄司亜佐子

曲師里奈 森智史

